

2007年が終わりに、2008年を迎えようとしています。NPO 法人スローライフ掛川が主催する「掛川ライフスタイルデザインカレッジ2007」にご参加いただき、本当にありがとうございます。代表、校長、そして運営スタッフ全員が、皆さまと出会えたことに、あらためて心よりお礼申し上げます。

カレッジが、皆様の生活を豊かに変えていく役割を果たしていただいていることを期待し、第2号のカレッジ通信も、プログラムで一人づつ、また講師からもプログラムの様子、実感や想いなどをお寄せいただき、編集いたしました。どうぞご覧いただきますようお願いいたします。

受講生全員がご参加いただけるベーシックプログラムは、終盤に入りました。残り3ヶ月のうちにフォーラムが3回、さらに公開セッションなどを予定していますので、どうぞお忘れなく、お見逃しなくご参加ください。

また、アクティビティプログラムでは、既に多くのプログラムがシーズンオフとなりましたが、佳境に入ったプログラムとして「サイクリング」と「Nippon学」があります。来年度、これらのプログラムを受講を検討いただいている方は、見学いただくことは可能ですので、事務局までどうぞお知らせください。

第3期となるカレッジプログラムをただ今計画中です。2008年も、自然と地域を使いこなす創造的なライフスタイル提案に、スタッフ一同邁進する所存ですので、どうぞご期待ください。

### トレッキング / 前澤康代さん(受講生) 「トレッキング講座を受講して」

漫画家望月玲子さんは私の幼友達で、作品には子供の頃の遊びや故郷も時々登場しますが、主人公が山登りをするシーンがよく出てきます。それがとっても好きで、私も登ってみたいと思いました。そうして潜在意識にトレッキングが擦り込まれたのでした。

トレッキングしたい！でもどうしたらいいのかわかりません。一人で山に登るなんて、とてもできないし、そういう趣味を持ったお友達もいません。そんな時、インターネットで検索することを思いつきました。「静岡・トレッキング」というキーワードで巡り会ったのがスローライフ掛川でした。『どんな人がいるのだろう、ゴツ山男ばかりだったらどうしよう。』とちょっと不安もありましたが勇気を出して参加しました。

私の初トレッキングは山伏。若い時には体力に自信がありましたが、運動不足のたるんだ身体ではついていけないか心配もありました。心臓がバクハツするかと思った坂を抜けると青空と富士山が迎えてくれました。受講生の皆さんの楽しい声と爽やかな風に励まされて歩きました。山頂で地図を広げ遠くの山に「アコガレ視線」を向けて、「いつか行くぞ！」そんな視線で山を見る先輩受講生の熱意にいつの間にか感染したのでした。



山は沢山あるけれど、私達が登る山はいつも素敵。先生が選んで下さっている事に感謝。爽快な空気、森の深さ、きれいな紅葉、吸い込む空気の冷たさ。包み込まれているような感覚。山は大好き。

いつか八ヶ岳に行きたいと思っていましたが、実現しそうな気がします。

### Nippon学 / 藤原正康さん(受講生・農援隊) 「いのちの循環、日本の良さを実感」

私は、Nippon 学を受講している藤原と申します。ご存知の通り Nippon 学は 11 月から始まったばかりで、フェスティバルを入れて現在までまだ 3 回の受講が済んだところです。実は、私は 7 月からオーガニックファームの「農援隊」に誘っていただき、カレッジではこちらのほうでの参加が多く、今のところオーガニックファームの印象が強いため、Nippon 学の皆さんには失礼ですが、まずは「農援隊」での印象を先に述べさせていただきます。



講師である平野さんがおっしゃった「食はその作物のいのちをいただいている」「自分で作った野菜はお金には替えられない価値がある」「いのちの循環」という言葉が印象的です。実際、農作業を行いますと、自分の気持ちはなぜか穏やかになり、終えたあとは大変清々しく感じます。畑では色々な生き物がいて、それぞれがいのちを持っていて、その中に人間も一つのいのちとして包まれ、それぞれのいのちが共鳴し合い、お互いを励ますのではないかと感じるのです。また、いのちは決して上下があるのではなく、全て平等で、どのいのちも欠かすことができない循環の輪にあると感じます。自然の中に入ると、それぞれのいのちが、よく来たな！まあよってけ！等、言葉はなくとも会話をしているのではないのでしょうか。そしてお互いが一体になり、励ましあい、元気になっていくのではないのでしょうか。このようなことを思いながら自然に接している時、仕事、人間関係、お金等の悩みなど小さいものに思えてきて、自分は癒されているな、と感じるのです。

後になってしまいましたが、Nippon 学についてです。日本には、昔から引き継いできた素晴らしいものが身近に沢山あるのに、そういうことを自分はほとんど知らないんじゃないか...歳を取る毎に、この思いが強くなってきました。日本の素晴らしいものとはどんなものなのかを、ぜひ知りたい、触れたいと思うのです。

Nippon 学は、11月4日にスタートし、初回のプログラムは土鍋による炊飯でした。講師の長坂さんによる「美味しく飯を炊く方法」「米の食材としての素晴らしい」として「瑞穂の国日本の米を基本とした仕組み」に関する情熱の講義は、大変充実した内容でした。そして「日本の素晴らしいもの」そのひとつが少し分かった気がします。今後も、こうした興味深いプログラムに期待が高まります。

“日本”に興味をお持ちの方、ぜひ Nippon 学へ一緒に参加しませんか。

### Nippon学 / 長坂潔暁さん(講師) 「田圃からお茶碗まで」

2006年9月のセッション「うまさ120%のご飯～」のアップグレード版のつもりでNippon学の第1回を担当させていただきました。お米を生業とする中から気づかされた事。「古の時代、人々に国という概念を芽生えさせたエネルギーの源、それが稲だ...」そんなストーリーを説明するために集めたネタで講座を作りました。我々のアイデンティティに関わるこのエネルギーの源、稲を理解するために、これまで私自身が体で感じ知り得たのと同じ方法、「田圃へ入ること、稲に触れること、飯を炊くこと、食べること」という「田圃からお茶碗まで」を断片的ながらも実際に体感してもらったというわけです。

古の時代から先人達が稲によって紡ぎ出そうとしたコト、それは「いつもそこにある安堵」です。しかしその安堵は長い



11/4 Nipponの食 土鍋で飯を炊くより

期間とても不安定なものでした。ところが私が生まれた昭和40年頃に、その求めて止まなかった安堵が日常になったのです。その瞬間にニッポン人は稲と稲がもたらす様々な慣習から離れていきます。そして今、それはさらに加速し皮肉にも質の違う不安定を生んでいます。そんな時代に米屋で生きる私は、この講座をきっかけに、ニッポン人のアイデンティティそのものであった、このエネルギーの源を「田圃からお茶碗まで」という流れの中で、きちんと整理し説明する使命を感じはじめています。

そんな心持ちのまま講座が終わって3週間後、カレッジフェスティバルでNippon学の皆さんが土鍋で飯炊きをしてくださいました。そこで皆さんが生きてきた目で米に触れ、水加減で意見を戦わせながら飯を炊く姿を見た時、かつてのニッポン人の姿をイメージしたのです。と同時にそこに失いかけていた「安堵」を見たのでありました...ありが稲。

### 茶と器学 / 東 幸代さん(受講生) 「茶と器学のすばらしさ」

掛川ライフスタイルデザインカレッジに出会い、早2年が経ちました。今年は茶と器学を受講させてもらいました。静岡県に生まれた私にとってお茶は私の生活に欠かすことのできない大好きな飲み物。そんな身近なものにもっと興味を持ちたいと思いました。



まず始めに、竹廣先生の工房におじゃましました。とっても雰囲気のある素敵なたたずまい！！感動しているのも束の間、器作り開始・結構難しかった><『器の中の形が外の形になる』と言う意味を理解するのに時間が掛かりました。昔から陶芸に興味があり、食器は自作の物を使いたいなんて夢もありましたが、ム・リ・か・も・ね・と思いました。はははでも我ながら素敵な作品に仕上がりましたよ。

次は、O-CHA 処チャ茶で小泊先生による茶学です。お茶の歴史や性質、そして楽しみ方を教えてもらいました。普段、チョー適当にお茶を入れて飲んでいますが、ゆっくりと時間を掛け飲むお茶の大切さを知り「お茶のための時間」を作れるような、心にゆとりの持てる人でいたいと思いました。

そして、空気のきれいな大地で育った、大塚さん家のお茶を摘ませてもらい、釜炒り茶を作りました。お茶を自分で作れるなんて考えたこともなかったので、始めは半信半疑でしたが、今まで飲んだことのない、風味豊かなまるやかなお茶ができました。これには感動です！！

自作した器で、自分で摘んだお茶を釜で炒り、お茶会でいただく。まさにスローライフです！！贅沢な体験をさせてもらいまして、ありがとうございました^^

## INFORMATION

詳しくは連絡事務所までお問い合わせ下さい

ベーシックプログラム【今後の予定】

1/19(土)講師:内海勝利氏 2/2(土)講師:小松正明氏 3/3(土)講師:平野正俊氏 会場:美感ホール(3回ともに)

ベーシックプログラムは受講生全員が参加できます(受講料に含まれています)ので、ふるってご参加くださいますようお願いいたします。

節分スロースタイルサイクリング【ご案内】

2/3(日) 掛川市役所 8:00 集合/昼食付きのガイドサイクリング/節分にちなんだ場所やみちを巡ります/参加費お一人 4,000 円/定員 100 名(予定)

掛川ライフスタイルデザインカレッジ 2007blog【ご活用ください】

カレッジの最新情報、お知らせ、報告などこのblogをご覧いただければ、プログラムの全容と詳細がわかります。

<http://ldc2007.seesaa.net/>